



学生時代から暮らした福岡市を離れ、別府へ移住して半年が経つ。転職先を探していたときに、たまたま出会ったのが今の別府市内の職場だった。実家が大分県内にあり、比較的近いというのも移住の大きな理由。現在はカレンダー通りに休日があり、定時に家に帰る

生活を送っている。「まだこっちに来て半年ですが、休みの日には家族であちこち出かけています。福岡にも小さい公園はたくさんあつたけど、別府の公園はすごく規模が大きいから気持ちが良いですね。あと、食べ物屋さんに行くことが多いかな」

## 国際的なまちで、のびのびと。

もうすぐ3歳になる娘の詩奏<sup>ししか</sup>ちゃんは、人見知りせず、よく笑う。これからの風にな成長していくのかを考えるのが、今はとても楽しい。「別府が国際的なまちだというのは、意識していません」と矢野さんは言う。海外からの旅行者や留学生も多い別府は、多様な国籍の人が道を歩いている。「子どもが小さな頃から自然と国際的な交流ができるので、いい刺激になるなと思います。移動図書館があたり、子ども達が自由に遊べる児童館も多いみたいだし、うまく利用しながら生活していきたいですね。うちの子が健康に育ってくればいいなと思っています」

>移住者<

矢野友来さん(33歳)  
梨代さん(32歳)、詩奏ちゃん(2歳)



## 子どもの成長を見守る暮らしを

「娘も大きくなるし、もっと一緒に過ごせる時間が必要だと思って」。以前は放送局に勤務していた矢野友来さん。休みは不定期で、夜中まで仕事をする日もあったのだそう。しかし子どもの成長は早い。どんどん大きくなる娘と、もっと一緒に過ごす時間をつくりたいと思い、転職を決めたという。

### 移住データ

移住歴: 半年  
職業: 医療事務  
以前の居住地: 福岡県福岡市  
移住のきっかけ: 転職  
居住エリア: 鉄輪エリア  
3LDK温泉つき 社宅

### 鉄輪 心にも体にも優しいカフェ

休日になると家族そろって公園や遊園地に出かけ、外食を楽しむことも多いという矢野さんご一家。なかでも、無数の湯けむりが立ち上る風景で知られる鉄輪の、築100年の一軒家を改装した「こちカフェむすびの」にはよく訪れるのだそう。「このお店は素材や調理法にこだわった体に優しいお料理が食べられるから、子ども連れでも安心です」と奥さん。

### 矢野さんのお気に入り

